

OCSテンプレート紹介と活用事例紹介

2025年3月13日 大江 和一

国立情報学研究所 クラウド基盤研究開発センター



OCS提供形態とテンプレート紹介

サービス版とポータブル版



長所:

NII側でVCP運用・保守 仮想ルータが利用可能

短所:

NIIへのVCP構築申請

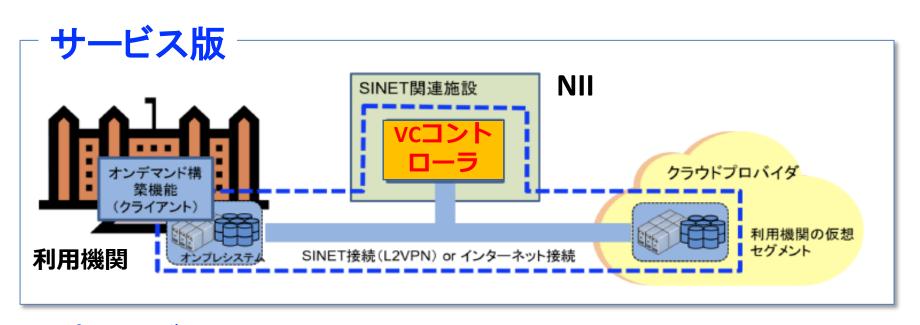
が必要

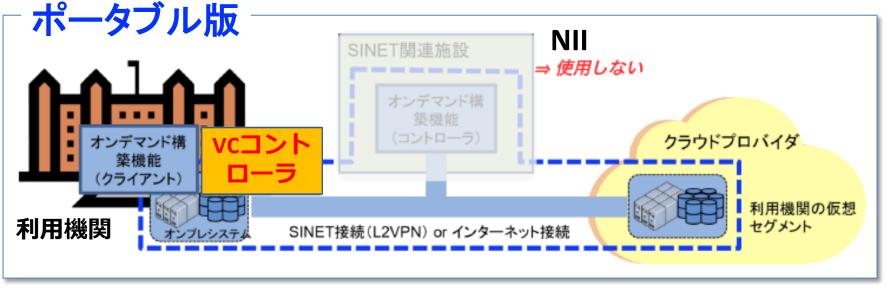


VCP構築申請が不要と なり、すぐに利用可

短所:

利用機関側でVCP構築・ 運用・保守





ポータブル版の構成方法



VCコントローラ: 利用機関

JupyterNotebook: 利用機関

(クライアント)

VCコントローラ: クラウド

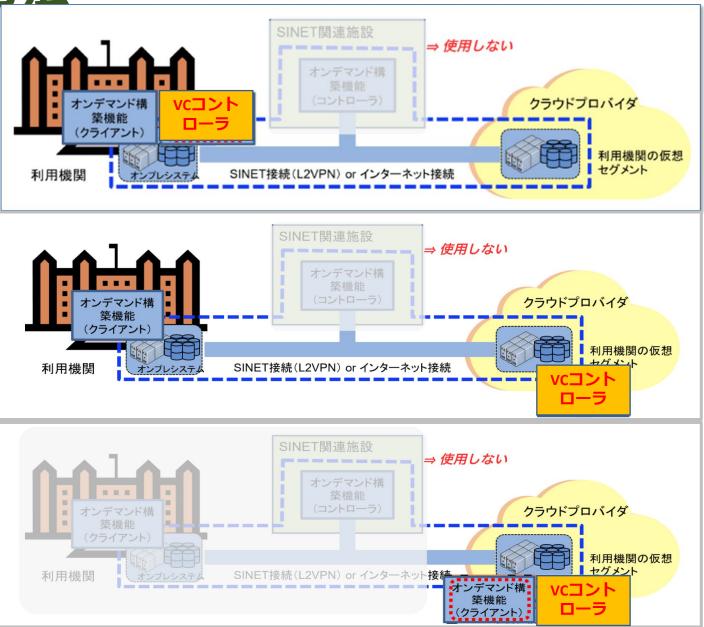
JupyterNotebook: 利用機関

(クライアント)

VCコントローラ: クラウド

JupyterNotebook: クラウド

(クライアント)



サービス構成



- 初期導入支援(サービス版)
 - 利用機関とクラウドを安全に連携させるための、ネットワーク設定についての技術的相談
 - ■含、クラウド設定用スクリプトの提供、画面共有による設定支援
- オンデマンド構築機能
 - 統一した利用方法で異なるクラウドの計算資源の確保、アプリケーションのインストール、及び監視を可能にするソフトウエアを提供
- 情報共有
 - ■ドキュメント、運用情報、個々の公開テンプレートに対する質疑応答等の情報共有
 - リポジトリ(ポータブル版の提供、著名アプリの構築テンプレート・コンテナ、ハンズオンセミナーの教材)

利用について



- サポートプロバイダ
 - 商用クラウドプロバイダ
 - Amazon Web Services、Microsoft Azure、さくらのクラウド、Oracle Cloud Infrastructure
 - 学術クラウドプロバイダ
 - 北海道大学ハイパフォーマンスインタークラウド サーバサービス、mdx
 - オンプレミスプロバイダ
 - VMware vSphere
- 利用対象
 - 大学・研究機関などの研究室、学部、機関全体などの組織
 - 教職員個人では申込めません。研究室や所属課等でお申し込みください
- 利用料金
 - 本サービスは無償です
 - クラウドプロバイダなどの有料サービスは利用者負担です
- お試し環境
 - ハンズオンの実習参加者向けに1ヵ月間試用できる環境を準備しています



- LMSテンプレート (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azureで動作確認済み))
 - Moodleを用いた学習管理システムの構築テンプレート。パスワード認証、Shibboleth 認証を利用したMoodleの構築とアップデート手順
- LMSテンプレート簡易構成版 (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azure で動作確認済み))
 - 上記LMSテンプレートより機能を絞ったシンプルな構成のMoodle環境の構築テンプレート。認証は手動設定アカウントかLDAP連携を用いた短期的な利用を想定。 Shibboleth等のSSO連携や長期利用はカスタマイズが必要。また、VCPを利用せずにAWSまたはAzureに直接LMS環境を構築する手順も公開



- MCJ-CloudHubテンプレート (VCP SDK v21.04以降対応 (AWS、mdxで動作確認済み))
 - 山口大学と共同開発したWeb型プログラミング教育支援システムMCJ-CloudHubの環境構築を行う。JupyerHubとnbgraderをベースとしている。運用には別途Moodle環境も必要。
- 軽量Python実習環境構築テンプレート (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azure、mdxで動作確認済み))
 - Pythonによるプログラムの共同開発や講義演習などを行うのに適したJupyterHubの中で小規模グループ用である「The Littlest JupyterHub」の環境構築をおこなう



- 講義演習環境テンプレート (VCP SDK v21.04以降対応 (AWS、Azure、mdxで動作確認済み))
 - Jupyter Notebookを用いた講義演習環境の構築。基盤ソフトウェアには、 JupyterHubを講義演習用に NII が拡張したCoursewareHubを使用。教材配布、課題の回答収集、操作履歴の収集等の機能を拡張



- HPCテンプレート v1 (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azureで動作確認済み))
 - OpenHPC v1.xで配布されているパッケージを利用して、クラウド上にHPC環境を構築するテンプレート。Slurmを利用したジョブスケジューラやSingularityコンテナ利用環境の設定と、構築したHPC環境で動作可能なベンチマークプログラムも提供
- HPCテンプレート v2 (VCP SDK v21.04対応 (AWS、Azure、Oracle Cloud、mdx で動作確認済み))
 - OpenHPC v2.xで配布されているパッケージを利用して、クラウド上にHPC環境を構築するテンプレート。v1 の機能に加え、GPUノードの利用とNVIDIA社のNGCカタログのコンテナの実行が可能



- HPCテンプレート v3 (VCP SDK v21.04対応 (AWS、Azure、Oracle Cloud、mdx で動作確認済み))
 - OpenHPC v3.1で配布されているパッケージを利用して、クラウド上にHPC環境を構築するテンプレート。
- Open OnDemand構築テンプレート (VCP SDK v21.04以降対応 (mdxで動作確認済み))
 - HPCテンプレートv2で構築したOpenHPC環境上にOpen OnDemand環境を構築する



- 計算資源補完テンプレート (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azureで動作確認済み))
 - オンプレミスのバッチ型計算機システムの計算ノード不足時に、クラウド上に同じソフトウェア構成を持つ計算ノードを自動的に立ち上げ、バッチシステムに組み込むクラウドバースト機能を提供。Torque等クラウドに対応していないバッチシステムでも、簡単なプラグインを作成することでクラウドバーストが可能。なお、本テンプレートはipynb形式ではなく、Pythonならびにbashスクリプトで記述されている
- 手書き文字認識システム構築テンプレート (VCP SDK v21.04以降対応 (AWS、Azureで動作確認済み))
 - Open HPC v2テンプレートをベースにGPU ベースの学習システム(Tensorflowを使用)の構築とCPUベースの認識システム(独自仕様)の構築を行い、フロントエンドとしてJupyterNotebook上に手書き数字認識システムを動作させる



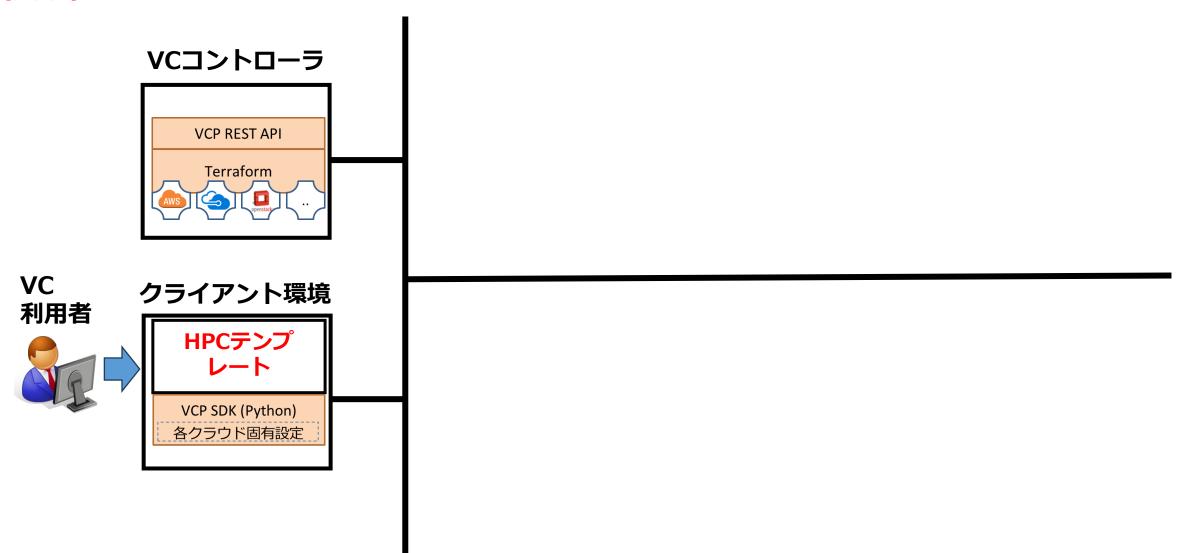
URL: https://github.com/nii-gakunin-cloud/ocs-templates/



OCSによるHPCクラスタ構築

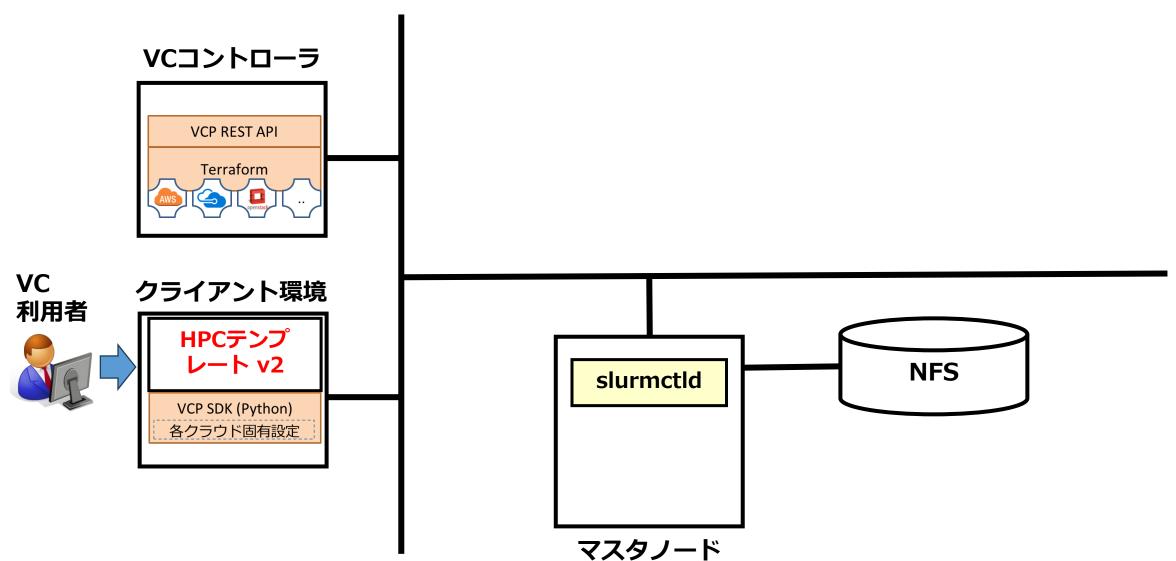


初期状態



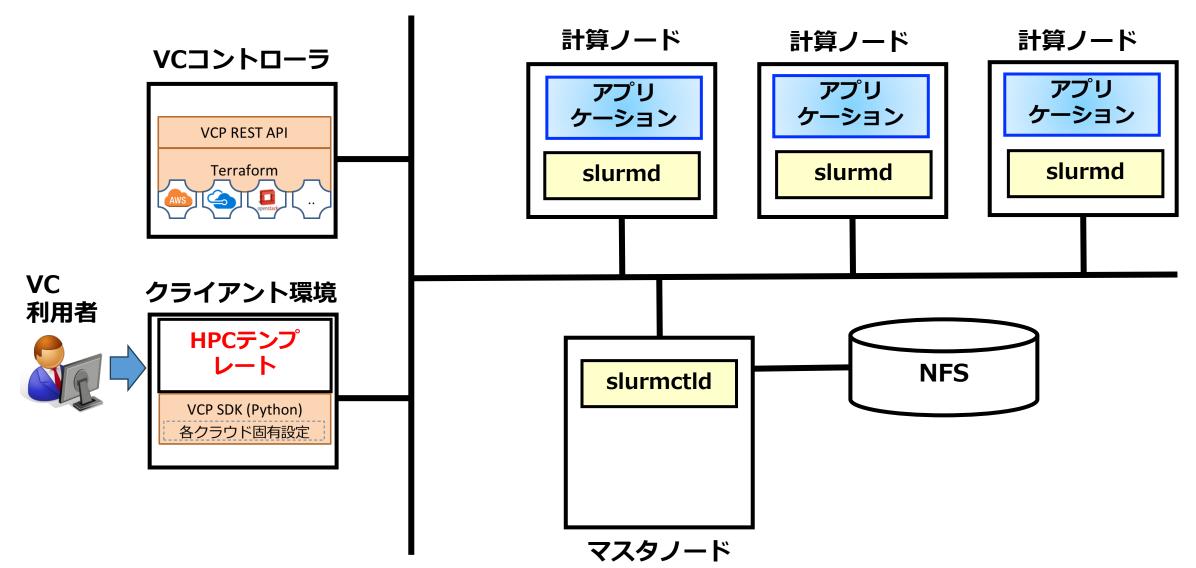


マスタノード、NFSサーバ起動



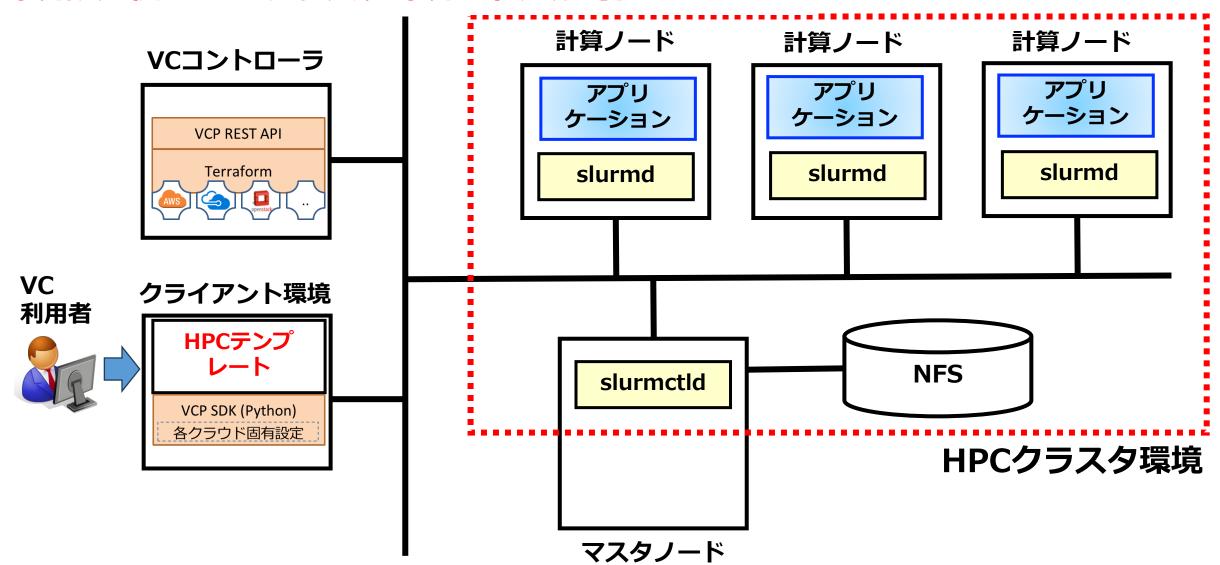


計算ノード起動





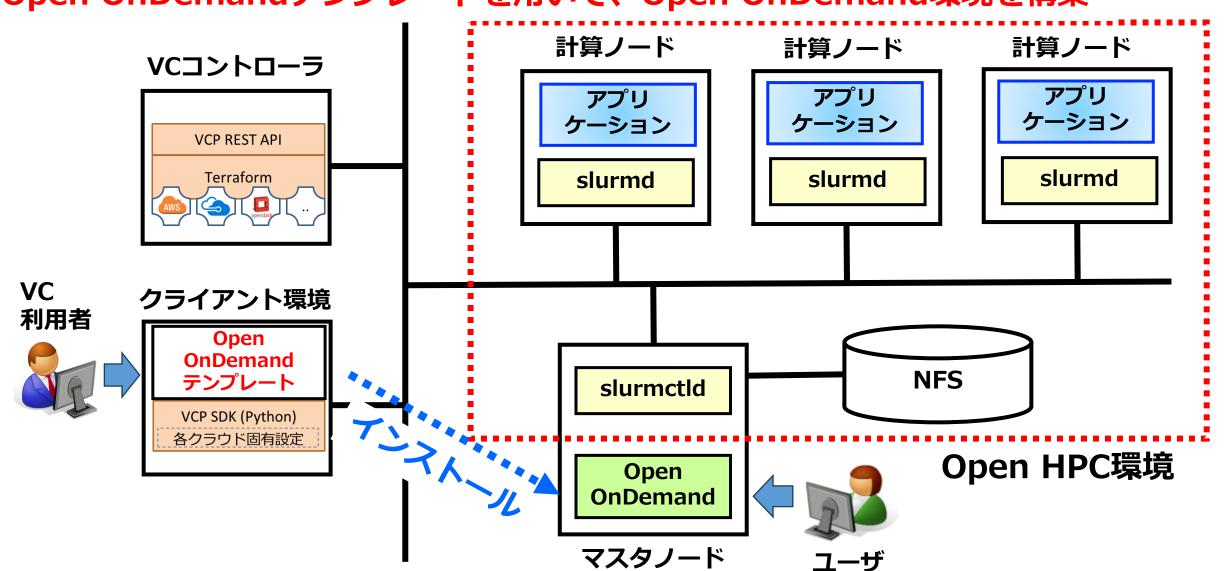
環境設定後にHPCクラスタ環境の利用が可能に





Open OnDemand環境の構築

Open OnDemandテンプレートを用いて、Open OnDemand環境を構築





Open OnDemandの国内動向



- Open OnDemandを利用可能なスパコン等
 - 富岳(理研)、Tsubame4(東京科学大学)、玄界(九大)、ABCI(産総研)、など
 - 理研のOpen OnDemandが国内では一番充実しています。
- 理研のOpen OnDemandの最新状況 (https://www.pccluster.org/ja/event/2025/01/250127-hpc-oss-ws.html)
 - Fujitsu TCSへの対応
 - ダッシュボードの変更
 - アプリケーションの追加
 - HPCI共用ストレージとGakuNin RDMとのデータ共有機能の開発、など
- Open OnDemand JP (https://openondemandjp.github.io/)
 - Open OnDemandの日本での普及を目的としたコミュニティサイト



HPCクラスタ活用に関するディスカッション



Thank You.

